

安全運転研修を無料に

広運協 組合員のコスト削減

広域運送事業協同組合

(樋口恵一理事長)は19日、東京都で総会・研修会を開き、事業計画、予算などを決定した。ETC(自動料金收受システム)カード手数料を1枚当たり100円値下げするほか、安全運転研修の参加料を無料にするなど「組合員のコスト削減に貢献」の方針を徹底していく。



樋口理事長は冒頭あいさ

つで、「労働力不足が深刻化する中、トラックが魅力ある業界となるためには、文句を言うより前に、まず実行に移すべき。皆で知恵を絞り、様々な方々からヒントをいただき、出来ることに取り組もう」と呼び掛けた。また、「組合として予想以上の黒字になった分は組合員に還元していく」と述べた。

ETCカード手数料は、これまでの1枚当たり80

円(税込み)から700

円に引き下げる。また、安全運転研修を多くの組合員に利用してもらうため1人

当たり2千2500円の参加費を無料にする。更に、利便性向上のため燃料請求システムの開発に着手。エコドライブの効果

を分かりやすく示し、取り組みにつなげるため、エコ

ドライブ記録システムと、スマートフォン(スマホ)

向けのエコドライブアプリを使用し、順位を競うキャンペーンを9月と2016

年2月に実施する。

研修会では、ウインローダー(東京都杉並区)の高嶋

民仁社長が、同社の廃棄物リサイクル事業「エコランド」でのこれまでの試行錯誤の取り組みや、海外での展開を説明。スマホアプリ開発やソリューション活用

コンサルティングを展開するユニークビジョン(渋谷区)の白土良之社長が、外部から見たトラックのイメージを紹介するとともに、求人などこれからの情報発信の在り方についてアドバ

イスした。(田中信也)